



HITOTSUBASHI UNIVERSITY

SHIBUSAWA
SCHOLAR PROGRAM

一橋大学商学部
「渋沢スカラープログラム」

2014年3月14日(金)
Christina Ahmadjian



HITOTSUBASHI
UNIVERSITY

「渋沢スカラープログラム」名称の由来

「日本資本主義の父」として知られている渋沢栄一は、近代日本経済の黎明期に、多くの会社を設立すると同時に経済制度の策定に貢献しました。また福祉や教育など様々な分野で大きな足跡を残し、一橋大学も格別の支援を受けました。

渋沢栄一が備えたインテグリティ(高潔さ、誠実さ)こそ、時代を越えてグローバル・リーダーに求められる要件だと考え、「渋沢スカラープログラム」という名前を付けました。



「渋沢スカラープログラム」のコンセプト

- 世界の経済・社会の発展にビジネスを通じて貢献するグローバル・リーダーの育成
- 多様な価値観を受け入れる社会性や国際舞台で通用するコミュニケーション・スキルの習得
- 経済・社会に対する深い問題意識、高い志と溢れる情熱、直面する課題を主体的に解決する能力を備えた真のグローバル・リーダーの育成

「渋沢スカラープログラム」カリキュラムの特徴

- 日本の資本主義の父であり、一橋大学の創設に寄与した渋沢栄一をロールモデルとし、21世紀のリーダー育成を目標とする教育プログラム
- 一橋大学の伝統である少人数制のゼミ、商学の基礎教育(日・英)を柱とし、3年次に海外協定校へ1年留学
- 商学部の海外留学生の比率の高さ(全体の1割強が海外からの留学生)を活かし、留学生との共修科目を積極的に導入する



HITOTSUBASHI UNIVERSITY
Faculty of Commerce and Management



「若し道徳が欠けたならば、如何に経済上の発展があつても必ず争が生ずる。其争の結果経済を壊す。又単に道徳とはかり云つて、物質の進まぬ富の力の無い只の道徳であると、志は甚だ嘉すべくあつても力が足らぬ。世を清け民を救ふといふことの出来るものではない。故に此両者が一致せねばならぬ。」
渋沢栄一（東京高等商業学校における特別講義）

一橋大学商学部「渋沢スカラープログラム」
グローバルリーダーシッププログラム
SHIBUSAWA SCHOLAR PROGRAM

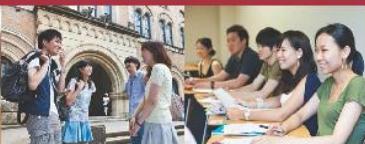
一橋大学商学部は建学当初の理念に立ち返り、21世紀のリーダー育成を目標とする新しい教育プログラムをスタートします。日本の資本主義の父である渋沢栄一をロールモデルとする人材、すなわち変革を先導し、その触媒としての役割を果たせる Global Captains of Industry の育成が我々の目標です。

プログラムで育成する人材像

- ・ 集全企画力と高い志をもった人材
- ・ 社会の多様なレベルにおける触媒として、変革を主導する人材
- ・ 多様性を尊重し、異なる価値観の醸成ができる人材
- ・ グローバルを視点からローカルな現場の課題に取組むことができる人材
- ・ 理論と実践の往復運動を通じて課題の解決策を導出できる人材

プログラムの基本方針

- 一集の伝統である少人数ゼミを基礎としたバイリンガル教育
- 世界の多様な分野のリーダーとの対話／個別指導
- プロジェクトベースの濃密な世論と討議
- 国内外での課題解決型の実地研修
- 長期留学
- 短期海外研修


Hitotsubashi University, Naka 2-1, Kunitachi-city, Tokyo, 186-8601
E-Mail: ssp-info@cm.hit-u.ac.jp
<http://ssp.cm.hit-u.ac.jp>

Hitotsubashi University

4

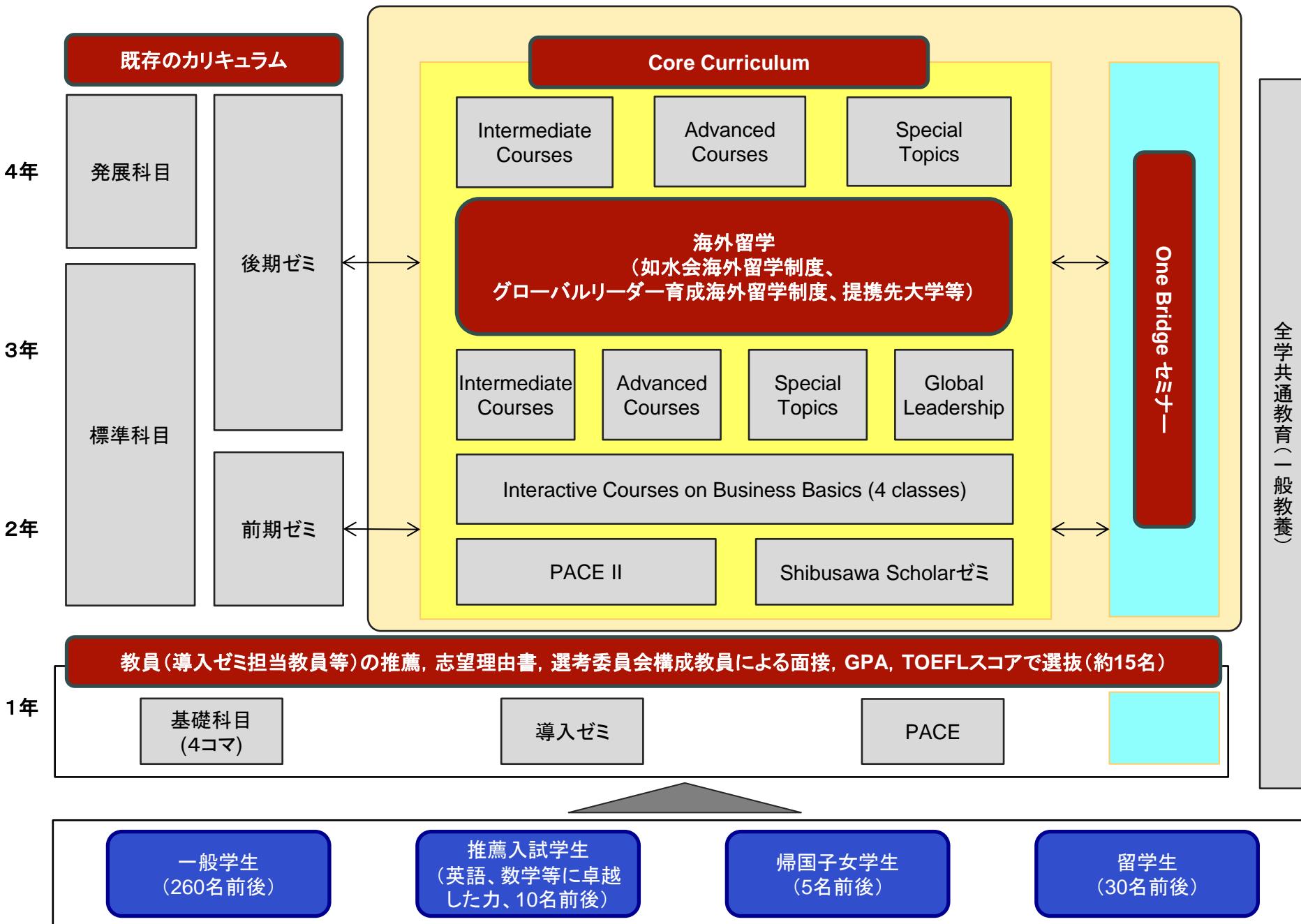
「渋沢スカラープログラム」の実施体制

■ プログラム・ディレクター
Christina Ahmadjian



■ プログラム・コーディネーター
秋庭 裕子





開講科目(平成26年度以降)



HITOTSUBASHI
UNIVERSITY

| 科目名 | 履修年次 | 単位数 |
|---|-------|------|
| Shibusawa Scholarゼミ I & II (夏学期 & 冬学期) | 2年 | 各2単位 |
| Interactive Courses on Business Basics (経営, 会計, ファイナンス, マーケティングの4科目) | 2年 | 各2単位 |
| PACE II (夏学期 & 冬学期) | 2年 | 各2単位 |
| Introduction to Global Leadership (夏学期) | 原則3年 | 2単位 |
| Intermediate Courses (経営, 会計, ファイナンス, マーケティングの4科目) | 3, 4年 | 各2単位 |
| Advanced Courses (経営, 会計, ファイナンス, マーケティングの4科目) | 3, 4年 | 各2単位 |
| Special Topics in Commerce and Management | 3, 4年 | 各2単位 |

平成26年度夏学期開講科目の具体的な内容(例)

- Introduction to Global Leadership
Professor Christina Ahmadjian
- Strategy and Structure 1
Assistant Professor E.J. Hyun
- Global Strategy 1
Assistant Professor E.J. Hyun
- Business, Government and Society
Professor Joel Baker Malen
- Behavioral Finance
Assistant Professor Shinwoo Kang
- Interactive Course in Business Basics
(Management)
Assistant Professor Joel Baker Malen
- Interactive Course in Business Basics (Finance)
Assistant Professor Shinwoo Kang

開講科目の担当教員

- 平成25年度、海外において博士号を取得した外国人教員3名の採用(G人材特任講師2名。イノベーション研究センター専任講師1名)。
 - Joel Baker Malen (Ph.D. in Strategic Management (Minnesota))
 - Eun Jung, Hyun (Ph.D. in Organizations and Strategy (Chicago))
 - Shinwoo, Kang (Ph.D. in Finance (Michigan))
- 平成26年度以降も、各エリアで外国人教員を採用予定。
- PACE (Practical Applications for Communicative English/商学部独自のスキル英語科目) 教員として、ディレクターを含めて6名の外国人教員を採用。

海外協定校の開拓

全学の学生交流派遣制度以外にも、渋沢スカラープログラムの学生向けの学部間交換留学に向けた新たな協定校を開拓（商学部・経済学部）

- Copenhagen Business School(デンマーク)
- Catholic University Leuven(ベルギー)
- University of South Carolina (アメリカ)予定

→平成26年度以降も、協定校を開拓予定。

SSP選抜について

- 定員:15名
- 出願書類
 1. SSP参加願
 2. 推薦書1通
 3. 志望理由書(約2000字、または英語約1000 words)
 4. 1年次夏学期の成績証明書
 5. 「外国語に関する試験・検定等」に係る証明書類
- 選考方法
 - 第1次審査:書類審査
 - 第2次審査:面接試験
 - 提出書類、面接試験、1年次成績及び2回の英語プレイスメントテストの成績を総合して最終合格者を決定

→ 今年度、SSPウェブサイト、学内海外留学フェア(2013年4月、10月)、SSP説明会(2回、昼休みに実施)、導入ゼミとPACE(ともに商学部1年次必修科目)にて広報

平成26年度のSSP第1期生の選抜

平成26年度「渋沢スカラープログラム」募集に対し、19名の応募があり、書類選考、面接を経て総合的に審査した結果、最終合格者は13名となった(3月13日現在)。

最終合格者(13名)の属性

男女比:10:3

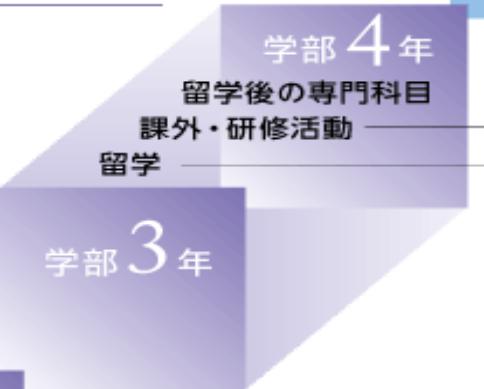
国籍: 10(日本国籍):3(外国籍)

渋沢プログラム・スケジュール

商学部

グローバル・リーダーズ・ プログラム

学部2年
英語による
専門科目
(留学生との混在)



Certificate (修了証書)

- 主として提携校との交換留学
- 如水会&参加企業との連携による国内外課外・研修活動

学部1年

PACE (Practical Applications for Communicative English)

- クラス15名のインタラクティブな英語スキル科目(年間40クラス以上を開講)
- 「書く・プレゼンする」を中心
- 1年次に週2コマ(1.5時間×2)を集中
- プログラム・ディレクターを中心に、外国人のPACE専任教員5名を採用
- ライティング・センター整備

選抜 ● 1年終了時に、学業成績、熱意や志などを総合的に評価して15名程度を選抜

渋沢スカラープログラムの修了要件

以下の科目群から38単位を取得し学生に対して「渋沢スカラープログラム修了証」を授与する。

- Shibusawa Scholarゼミ I & II (4単位)
 - Interactive Courses on Business Basics (2単位 × 4科目 = 8単位)
 - PACE II (2単位 × 2科目 = 4単位)
 - Global Leadership (2単位)
 - 長期海外留学
 - Intermediate Courses
 - Advanced Courses
 - Special Topics
- } 20単位

- 「長期海外留学先大学における履修科目」に関しては、商学部専門領域に関連しあつ一橋大学で単位互換認定される科目的単位修得が必修
- 1年次終了時にTOEFL iBT100以上のスコアを有する場合は、PACE IIを履修しなくてもよい
- 上記の修了要件には含まれていないが、プログラム参加学生には、One Bridgeセミナーへの参加および渋沢スカラーレポートの提出が求められる

One Bridgeセミナーの開催

渋沢スカラープログラムでは、ビジネスや研究分野の第一線で活躍されている方々を招いて、One Bridgeセミナー(OBS)を開催している。少人数でともに考え討議することで、グローバル・リーダーのマインドセットについてさらに理解を深めることを目的としている。

なお、渋沢スカラープログラムに所属する学生は、4年次に作成する「渋沢スカラーレポート」の内容を、One Bridgeセミナーにおいて発表する予定である。

【平成25年度のOBS】

- 第1回 (4月16日) Günter Stahl 教授 (ウィーン経済大学)
- 第2回 (10月30日) 小沼 大地氏 (NPO法人 クロスフィールズ)
- 第3回 (11月18日) David Vogel 教授
(カリフォルニア大学バークレー校)
- 第4回 (12月16日) 渋澤 健氏
(シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役)

国際インターンシップの実施に向けて: グローバル企業への就職を視野にいれた短期海外研修



HITOTSUBASHI
UNIVERSITY

短期研修(豪:ビジネス・エマージョン・プログラム)（平成25年度より実施）

渡航前の準備教育

+

- ・オーストラリアをはじめとする英語圏への就職活動、
ビジネス慣習について実践的に学ぶ
- ・現地での発表会
- ・企業訪問(平成25年度には、如水会会員の協力を得て、
現地トヨタ工場を視察。人事担当者との意見交換)

+

帰国後のアンケート、報告会

「渋沢スカラープログラム」アドバイザリーボードの設置

ボードメンバー

■ 小沼大地氏

(NPO法人 クロスフィールズ 代表理事)

■ 渋澤 健氏

(シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役)

3月17日(月)如水会館にて、第1回「渋沢スカラープログラム」アドバイザリーボード・ミーティングを開催予定。

平成26年度の活動計画

- カリキュラムの充実
- SSPウェブサイトの充実
- 外国人教員の採用
- 学生交流協定校の開拓
- 国際インターンシップについて調査、開拓。如水会との連携。
- One Bridgeセミナーの実施
- Shibusawa Scholar Communityの形成
- 国際インターンシップ等の準備教育として：短期研修（豪：ビジネス・エマージョン・プログラム）の実施（夏・4週間）

今後の課題

- One Bridgeセミナーの講師陣
- アドバイザリー・ボードとの連携(2名から3~4名に拡充)
- 国際インターンシップ先の開拓
- 外部資金の獲得(One Bridgeセミナーの運営費、講師招聘等)

-
- SSPウェブサイト: <http://ssp.cm.hit-u.ac.jp/>
 - 問い合わせ先: ssp-info@cm.hit-u.ac.jp